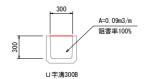




※土砂等の撤去 L=8.0m (U字溝300B)

標準断面図



土砂撤去数量	0式当り(L	=8. Om)		
名 称	規	格	数	量
人力掘削	土砂		0.7	m3

## ☆撤去土砂等について

作業は人力施工とし撤去土砂等は、場内処理を原則とする。 搬出が必要な場合は現場監督員と協議の上、処理を行なうこと。 土砂撤去区間において、大きな損傷が新たに見られた場合は、 確認後(要協議)、対策工の実施を行う。

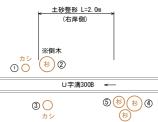
# 区間®

※右岸倒木による 洗掘補修 L=2.0m (人力整形工)



標準断面図

	_ 土砂整形 L=2.0m
※簡易平面位置図	(右岸側)



土工 L=1. Om当り							
名 称	規格	数 量					
人力掘削	土砂	0.5 m3					
人力埋戻	流用土	0.1 m3					
法面仕上	切土	1.2 m2					

※残土は場内処理

整形工数量	0式当り(L=2.0m)	
名 称	規格	数 量
人力掘削	土砂	1.0 m3
人力埋戻	流用土	0. 2 m3
法面仕上	切土	2.4 m2

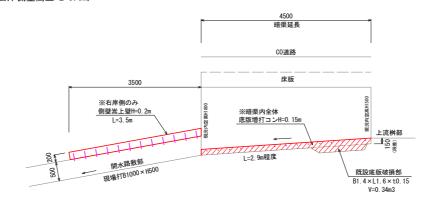
※ 立木伐採·撤去

	//										
	名 称	胸高直径	本 数								
4	杉	38 cm	2 本								
6	"	32 cm	1 本								
(5)	"	27 cm	1 本								
3	カシ	25 cm	1 本								
1	"	19 cm	1 本								

※除根なし、現場内処理予定。

# 区間①

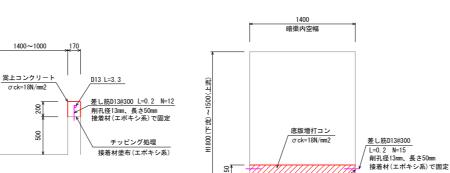
※暗渠内底版補修 L=4.5m (右岸側壁嵩上 L=3.5m)



縦断面図

# 標準断面図

※右岸側壁嵩上部



※作業は人力施工とし残土は、場内処理を原則とする。

嵩上コン	嵩上コンクリート数量表 1.				
名	称	規	格	数	量
コンク	リート	$\sigma$ ck=18N/mm	2	0. 12	m3
型	枠	小型構造物		1. 43	m2
チッピ	ング処理	接着材塗布含	rt:	0. 60	m2
削孔		径13mm、長さ	50mm	12. 00	箇所

差 筋 D 1 3

底版增:	式当り(L:	=4. 5m)		
名	称	規 格	数	量
コン:	クリート	$\sigma$ ck=18N/mm2	1. 29	m3
型	枠(下流端)	小型構造物	0. 21	m2
高圧洗	: 浄	吐出圧力30Mpa	5. 41	m2
削孔		径13mm、長さ50mm	30.00	箇所
差筋D	1 3	SD345	5. 97	kg

高圧洗浄30Mps 既設底版部 1.2.9×B1.4

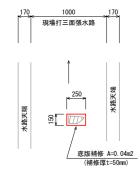
標準断面図

※底版増打コンクリート部

# 区間①

※底版欠損補修 1箇所

標準図(平面)



医版補修数量表 1.0式当り(1.0箇所)										
1	Š			称		規	格		数	量
断	面	補	修	I	t=50	Omm			0.04	m2

※下地処理後(劣化部はつり)、清掃+プライマー塗布を行い無収縮モルタル等で被覆する。

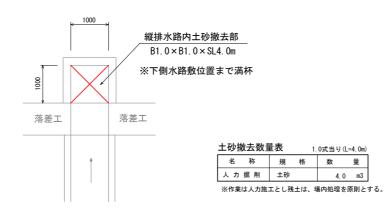
# 区間G

SD345

※土砂等の撤去 L=4.0m

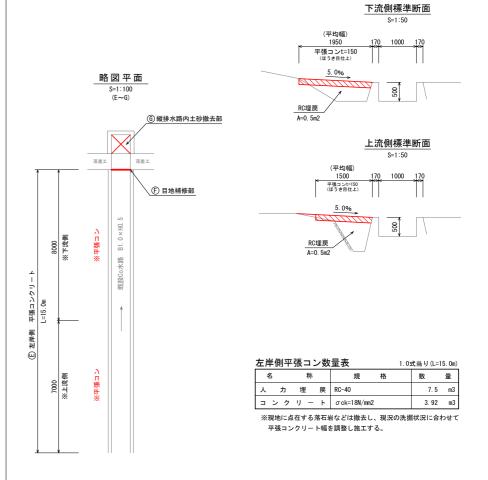
標準図(平面)

5. 67 kg



# 区間(E)

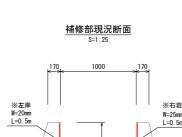
※平張工(左岸) L=15.0m





W:現況目地開き幅 L:現況目地延長

※目地補修工 (落差工上側)





W:設計幅 現況目地開き幅+10mm(最大40mm以下) t:設計厚 30mm以下(最低10mm) ※標準は20mmとする

目地補修標準図

現場打ちコンクリート水路

(充填工法)

各種・充填材 弾性シーリング材

プライマー塗布

バックアップ材

U型溝成形工 機械はつり

目地補修工延長 1.0箇所当り 名 称 規格 数 量

目地補修延長 充填工法 2.0 m

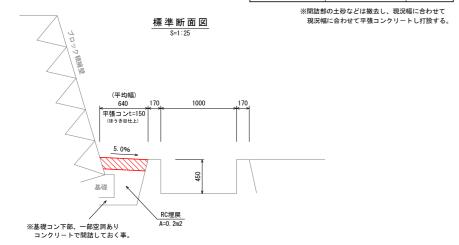
※尾尻北	江区					
業務名	R 5 徳耕	地すべり	レ 佐那河内 尾尻北-1	内 長寿命化対策工		
路線名等	佐那河内地区 名東郡佐那河内村					
業務箇所						
図面名	1 %	引排 水	路 - 1	構造図		
縮尺	図 疗	ŧ	図面番号	04 / 13		
会社名						

※1号排水路(1) 事業者名 徳島県東部農林水産局〈徳島〉



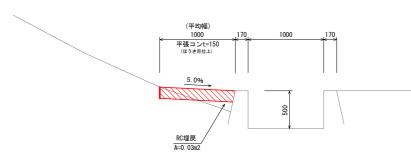
※平張工(左岸) L=8.8m ブロック積擁壁区間

左岸側平張コン数量表 1.0式当り(L=8.8m) 称 規格 数 量 コンクリート σck=18N/mm2 0.84 m3 人力埋戻 RC-40 1.8 m2



# 区間①

※平張工(左岸) L=13.0m 上側落差エ~下側帯工まで



左岸側平張コン数量表 1.03						3. Om)
名	称		規	格	数	뮾
コンク	リー	٢	$\sigma$ ck=18N/mm2		1. 95	m3
人力埋息	 旲		RC-40		0.4	m2

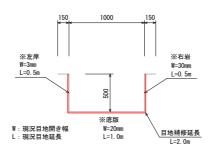
※現地に点在する落石岩などは撤去し、現況の洗掘状況に合わせて 平張コンクリート幅を調整し施工する。

# 区間切

☆県道より下側 区 間 J1

※目地補修工 (水路合流部上側)

# 補修部現況断面



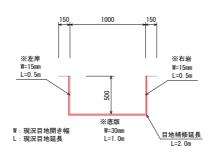
目地補修工延	1.0箧	所当り				
名 称	規 格	数 量				
目 地 補 修	充填工法	2. 0	m			
※補修標準断面は右記参照						

☆県道より下側

区 間 ①

※目地補修工 (落差工上側)

# 補修部現況断面



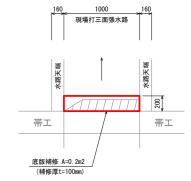
目地補修工延長 1.0箇所当						
名 称	規	格	数	量		
目 地 補 修	充填工法		2. 0	m		
※補修煙準断而け右記参昭						

# ☆県道より下側

# 区間低

※底版欠損補修 1箇所

標準図(平面)

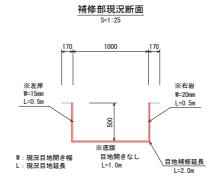


J	底版補修数量表 1.0式当り(1.0箇所)											
	名				称		規	格		数		量
ſ	断	面	補	修	I		t=100mm			0.	2	m2

※下地処理後(劣化部はつり)、清掃+プライマー塗布を行い無収縮モルタル等で被覆する。

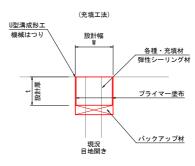
# ☆県道より下側 区間し

※目地補修工 (帯工上側)



目地補修工	1.0箇月	折当り						
名 称	規 格	数	量					
目 地 補 修	充填工法	2. 0	m					
※								

# 目地補修標準図

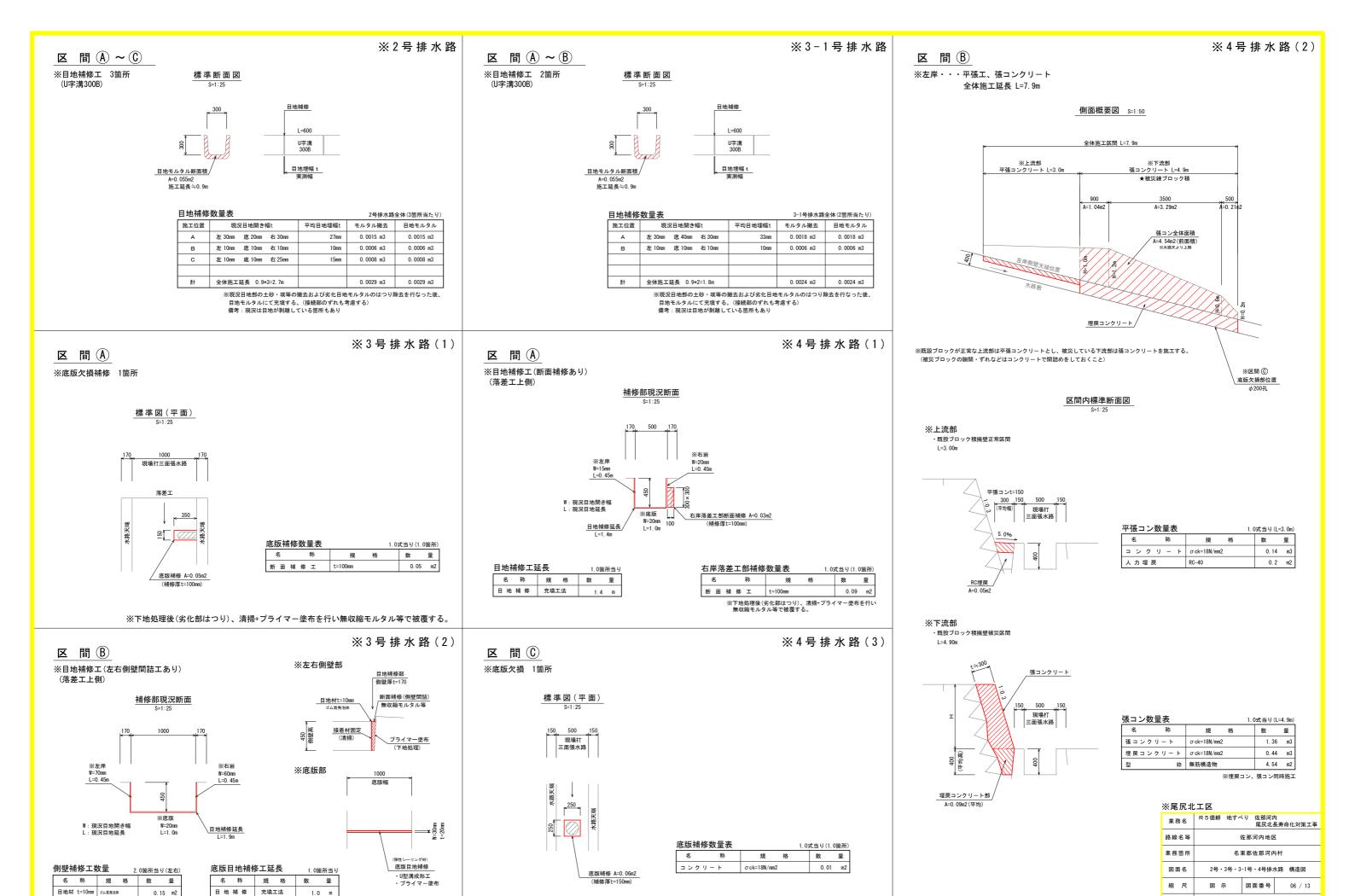


W:設計幅 現況目地開き幅+10mm(最大40mm以下) t:設計厚 30mm以下(最低10mm) ※標準は20mmとする

## ※尾尻北工区

_	ふたかれ	, T E					
	業務名	R 5 徳耕 地すべ		内 長寿命化対策工事			
	路線名等	佐那河内地区					
	業務箇所	名東郡佐那河内村					
ſ	図面名	1号排水路-2 構造図					
Ī	縮尺	図示	図面番号	05 / 13			
	会社名						
ſ	事業者名	徳島県東	部農林水産別				

※1号排水路(2)



※下地処理後(劣化部はつり)、清掃+プライマー塗布を行いコンクリートで埋戻。

断面補修工 t=68mm(平均) 0.15 m2

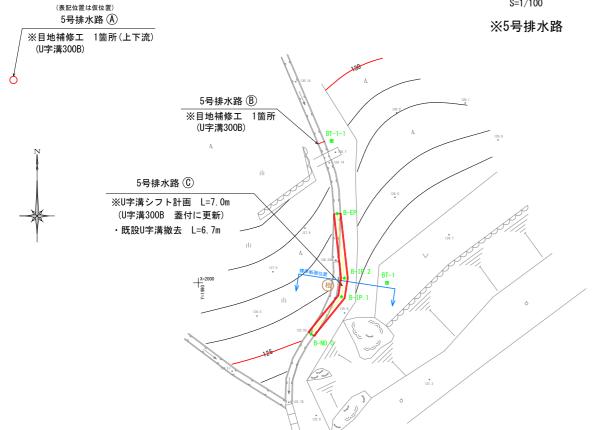
※左右側壁部は開孔幅が広いため、新たに目地材を設置し無収縮モルタル等で断面補修をする。

会社名

徳島県東部農林水産局〈徳島〉

# 現況実測平面図

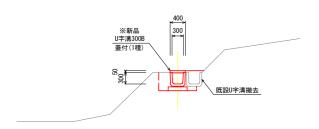
S=1/100



区間① ※U字溝シフト計画

L=7. 0m

標準横断図 S=1:50



土工 L=1. 0m当り								
名 称	規 格	数 量						
人力掘削	土砂	0.4 m3						
Co取壊し	無筋	0.06 m3						
人力埋戻	流用土	0.4 m3						
基面仕上	土砂面	0.5 m2						

※立木(檜)による押出し損傷が見られるため、U字溝のシフト計画を行う。 現況のU字溝は撤去し、左岸側の畦畔部にシフト施工するため蓋付水路で復旧する。 シフト線形は、平面図を参考に現地調整を行うこと。 水路本体及び蓋は新設とする。

点 名	X 座標	Y 座標	Z 座標	
BT-1	2000.000	2000. 000	125. 000	※仮
BT-1-1	2007. 516	1997. 062		

## 中心線座標

基準点座標

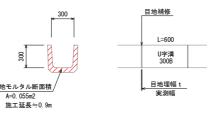
点 名	X 座標	Y 座標
B-N0. 0	1997. 285	1995. 980
B-IP. 1	1999. 263	1997. 588
B-IP. 2	2000. 251	1997. 740
B-EP	2003. 664	1997. 360



# 区 間 (A) ~ (B)

※目地補修工 2箇所 (U字溝300B)

# 標準断面図



# 目地補修数量表

## 5号排水路全体(2箇所当たり)

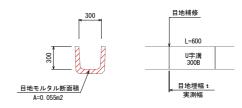
施工位置	現況	目地開き	福t	平均目地埋幅t	モルタル撤去	目地モルタル
А	左 20mm	底 10mm	右 15mm	15mm	0. 0008 m3	0.0008 m3
	左 20mm	底 10mm	右 15mm	15mm	0. 0008 m3	0.0008 m3
В	左 30mm	底 10mm	右 35mm	25mm	0. 0014 m3	0. 0014 m3
ä†	全体施工類	延長 0.9*	3=2. 7m		0. 0030 m3	0. 0030 m3

※現況目地部の土砂・埃等の撤去および劣化目地モルタルのはつり除去を行なった後、 (表現の日本品のエリー・ 及号の版名のまであれるとアメルの 目地モルタルにて充填する。(接続部のずれも考慮する) 備考:現況は目地が剥離している箇所もあり

※目地補修工 4箇所 (U字溝300B)

区 間 (A) ~ (D)

# 標準断面図



# 目地補修数量表

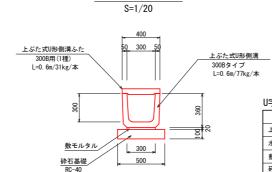
## 6号排水路全体(4箇所当たり)

施工位置	現況目地開き幅t	平均目地埋幅t	モルタル撤去	目地モルタル
Α	左 15mm 底 20mm 右 10mm	15mm	0.0008 m3	0.0008 m3
В	左 20mm 底 30mm 右 15mm	22mm	0.0012 m3	0.0012 m3
С	左 20mm 底 30mm 右 15mm	22mm	0.0012 m3	0.0012 m3
D	左 60mm 底 30mm 右 10mm	33mm	0.0018 m3	0.0018 m3
at the	全体施工延長 0.9*4=3.6m		0.0050 m3	0.0050 m3

※現況目地部の土砂・埃等の撤去および劣化目地モルタルのはつり除去を行なった後、 目地モルタルにて充填する。(接続部のずれも考慮する) (現況の目地が刺離している箇所もあり)

# ※尾尻北工区

業務名	R 5 徳耕 地すべ		内 長寿命化対策工事				
路線名等	佐那河内地区						
業務箇所	名東郡佐那河内村						
図面名	5号・6号排水路 構造図						
縮尺	図示	図面番号	07 / 13				
会社名							
事業者名	徳島県東部農林水産局〈徳島〉						

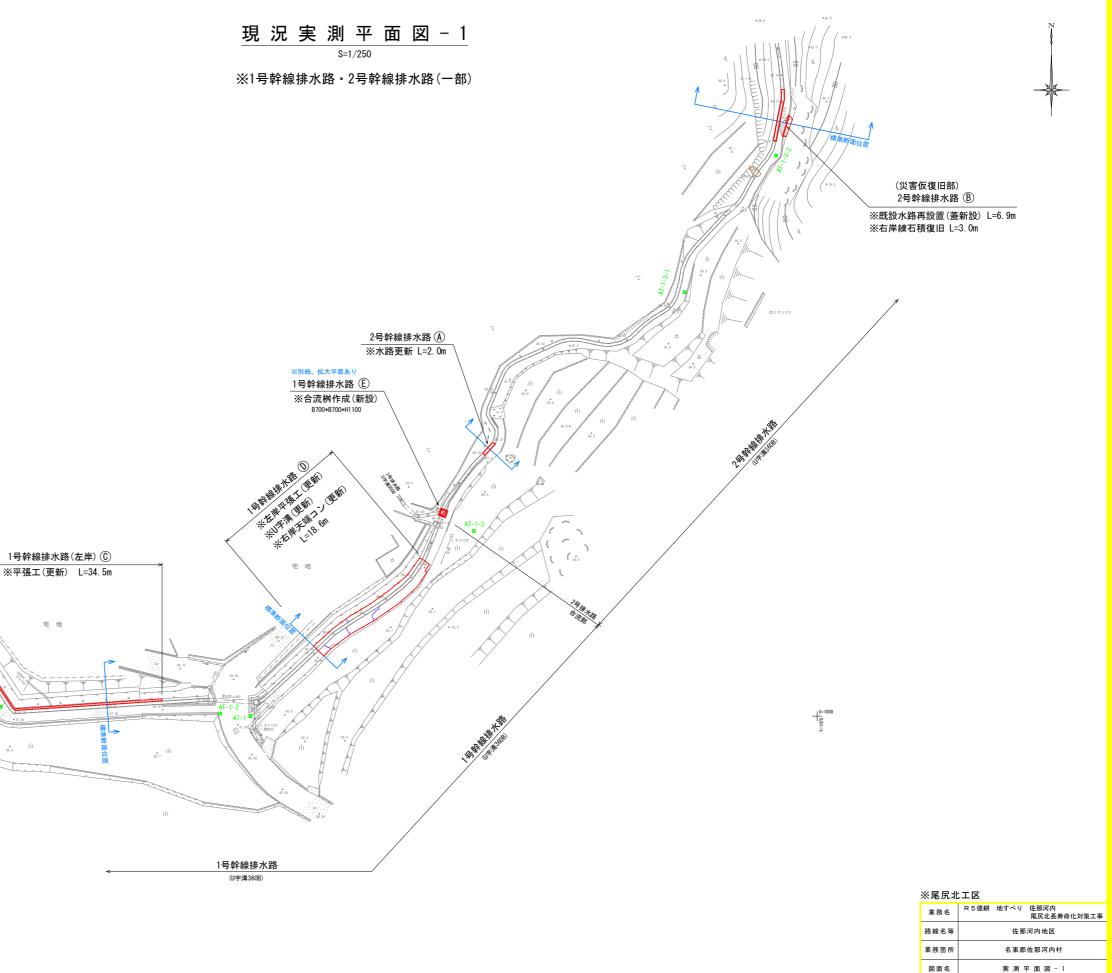


U字溝300B

# U字溝300B(更新) L=10.0m当り 名 称 規格 数 量 上ぶた式U形側溝 300×300×600 16.5 個 水 路 蓋 1種 300B用 16.5 個 数 モ ル タ ル 1:3 0.06 m3 砕 石 基 礎 RC-40 t=100 5.00 m2

	点 名	X 座標	Y 座標	Z 座標	
	AT-1	1000.000	1000.000	87. 668	
	AT-1-1	1001. 234	966. 907	87. 043	
	AT-1-2	1000. 314	995. 935	88. 000	※仮BM
	AT-1-3	1024. 503	1029. 546	86. 744	
	AT-1-1-1	1029. 518	919. 815	87. 077	
	AT-1-3-1	1056. 131	1057. 446	86. 880	
	AT-1-3-2	1074. 217	1069. 558	86. 567	
	★基準点Z	座標(標高)は、	仮BM点からの	直接水準値	
:作	業位置は1号水路交差	部(最上流)			
15	号幹線排水路	<u>(A)</u>			
	-砂等の撤去 (U字溝360B)	L=15. 0m			

1号幹線排水路 (B) ※水路工再設置 L=5.0m (U字溝360B)



縮尺

会社名

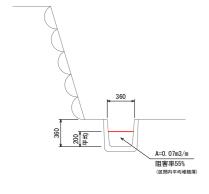
1:250 図面番号

徳島県東部農林水産局〈徳島〉



※土砂等の撤去 L=15.0m (U字溝360B)

標準断面図



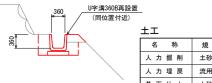
土砂撤去数量	<b>遣表</b>	1.0式当り(L=15.0m)			
名 称	規	格	数	量	
人力掘削	土砂		1.1	m3	

## ☆撤去土砂等について

作業は人力施工とし撤去土砂等は、場内処理を原則とする。 搬出が必要な場合は現場監督員と協議の上、処理を行なうこと。 土砂撤去区間において、大きな損傷が新たに見られた場合は、 確認後(要協議)、対策工の実施を行う。



U字	字溝360B(再利用)							Om当り
名			称		規	格	数	量
敷	Ŧ	ル	タ	ル	1:3		0.0	7 m3
砕	石		基	礎	RC-40	t=100	5.6	02



エエ		L=1.0m当り
名 称	規 格	数 量
人力掘削	土砂	0.3 m3
人力埋戻	流用土	0.3 m3
基面仕上	土砂	0.6 m2

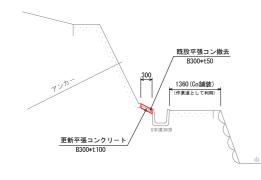
※既黔U字溝を撤去し基礎は新たに施工する。 本体は清掃し再利用するものとする。 立木押出しによる影響がある区間は、再布設する 位置を少し移動させ施工すること。 (重が必要となる場合は、現場監督員の7億を取ること)

# 区間①

※平張工(更新) L=34.5m

復旧標準断面図

# 標準断面図



※既設コンを撤去し、新たに平張コン(t=100)を打設する。 擦り付け高は、U字溝天高から張コン基礎張出し位置(上流側) または現況位置程度(下流側)とする。 既設Co版下が底抜けしている場合は、砕石等で埋戻をしておくこと。

平張工			10.0m当たり
名 称	規 格	単位	数 量
Co取壊し	無筋	m3	0. 15
コンクリート	σck≧18N/mm2	m3	0. 30
目地材 t=10mm	瀝青質目地板	m2	0. 03

## 区 間 (D) ※左岸平張工(更新) L=18.6m U字溝360B(更新) L=18.6m 右岸天端コン(更新) L=18.6m



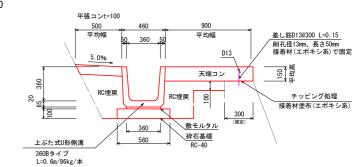
※平張・天端コンの幅は、区間内の平均幅に変更して作図

±Ι		L=1.0m当
名 称	規格	数 量
機械掘削	土砂	0.3 m3
Co取壊し	無筋	0.18 m3
埋 戻	RC-40	0.3 m3

II字谍360R(面新)

U子海300D(史初)				L=10.	Om当り
名	称	規	格	数	量
上ぶた	式Ⅱ形側溝	360×3	60×600	16. 5	個
敷モ	ルタル	1:3		0.0	7 m3
砕 石	基 礎	RC-40	t=100	5.6	n

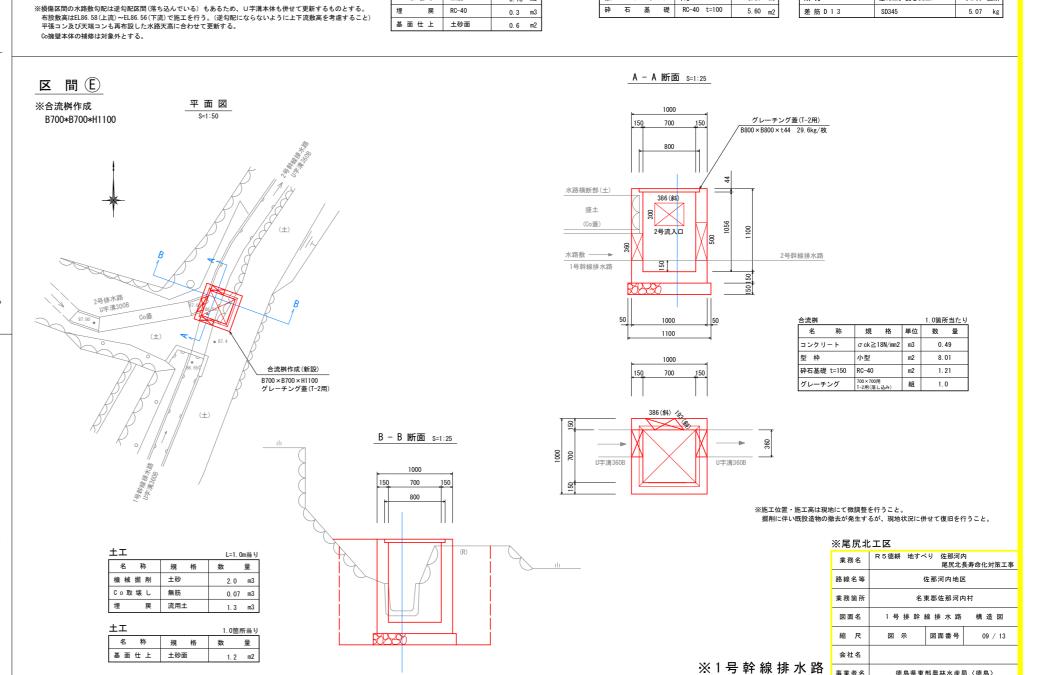
更新標準図 S=1/20

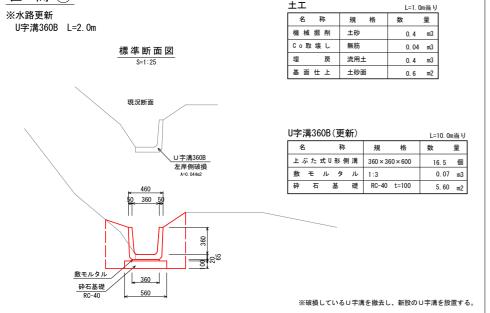


左岸平張	左岸平張コンクリート				
名	称	規 格	数	量	
コンク	リート	$\sigma$ ck=18N/mm2	0. 50	m3	
目地材t=10	mm	瀝青質目地板	0. 05	m2	

右岸天端コンクリート 10.0m当り					
名	称	規 格	数	量	
コンク	リート	$\sigma$ ck=18N/mm2	1. 35	m3	
型	枠	小型構造物	1. 50	m2	
チッピン	グ処理	接着材塗布含む	3. 00	m2	
削孔		径13mm、長さ50mm	34. 00	箇所	
差 筋 D 1 3	3	SD345	5. 07	kg	

徳島県東部農林水産局〈徳島〉

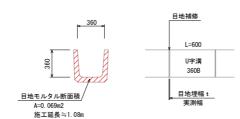




区間A



※目地補修工 1箇所 (U字溝360B)



標準断面図

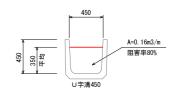
目地補修	数量表			1箇所当たり
施工位置	現況目地開き幅t	平均目地埋幅t	モルタル撤去	目地モルタル
С	左 30mm 底 10mm 右 40mm	27mm	0.0019 m3	0. 0019 m3
ä†	全体施工延長 1.08*1=1.08m		0.0019 m3	0.0019 m3

※現況目地部の土砂・埃等の撤去および劣化目地モルタルのはつり除去を行なった後、 目地モルタルにて充填する。(接続部のずれも考慮する) 備考:現況は目地が剥離している箇所もあり

# 区間D

※土砂等の撤去 L=3.5m (U字溝450)

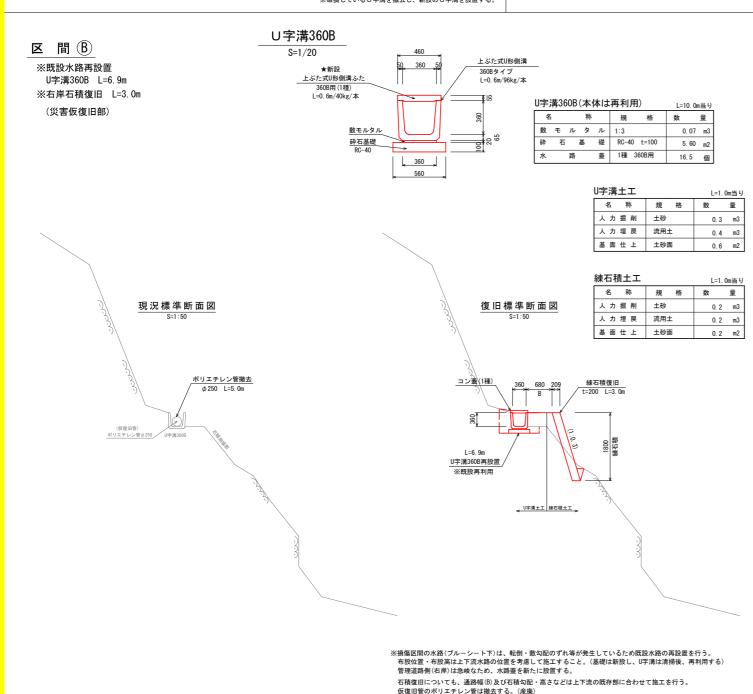
標準断面図



土砂撤去数量	1.	0式当り(L	=3. 5m)	
名 称	規	格	数	量
人力掘削	土砂		0. 6	m3

## ☆撤去土砂等について

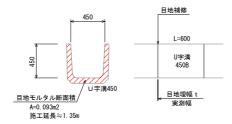
作業は人力施工とし撤去土砂等は、場内処理を原則とする。 搬出が必要な場合は現場監督員と協議の上、処理を行なうこと。 土砂撤去区間において、大きな損傷が新たに見られた場合は、 確認後(要協議)、対策工の実施を行う。



# 区間色~册

※目地補修工 4箇所 (U字溝450)

# 標準断面図



## 目地補修数量表 施工位置

現況目地開き幅t

平均目地埋幅t	モルタル撤去	目地モルタル
28mm	0.0026 m3	0.0026 m3
18mm	0.0017 m3	0.0017 m3
20mm	0.0019 m3	0.0019 m3

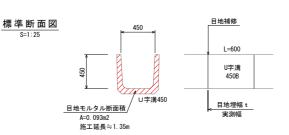
4箇所当たり

左 35mm	底 10mm	右 40mm	28mm	0.0026 m3	0.0026 m3
左 30mm	底 10mm	右 15mm	18mm	0.0017 m3	0.0017 m3
左 40mm	底 10mm	右 10mm	20mm	0.0019 m3	0.0019 m3
左 10mm	底 10mm	右 10mm	10mm	0.0009 m3	0.0009 m3
左 10mm	底 10mm	右 10mm	10mm	0.0009 m3	0.0009 m3
左 30mm	底 10mm	右 30mm	23mm	0.0021 m3	0.0021 m3
左 50mm	底 10mm	右 70mm	43mm	0.0040 m3	0.0040 m3
左 20mm	底 15mm	右 30mm	22mm	0.0020 m3	0.0020 m3
全体施工致	延長 1.35	*8=10.80m		0.0161 m3	0.0161 m3
	左 30mm 左 40mm 左 10mm 左 10mm 左 30mm 左 50mm	左 30mm 底 10mm 左 40mm 底 10mm 左 10mm 底 10mm 左 10mm 底 10mm 左 30mm 底 10mm 左 50mm 底 10mm 左 20mm 底 15mm	左 30mm 底 10mm 右 15mm 左 40mm 底 10mm 右 10mm 左 10mm 底 10mm 右 10mm 左 10mm 底 10mm 右 10mm 左 30mm 底 10mm 右 30mm 左 50mm 底 10mm 右 70mm	左 30mm 底 10mm 右 15mm 20mm 左 40mm 底 10mm 右 10mm 20mm 左 10mm 底 10mm 右 10mm 10mm 左 10mm 底 10mm 右 10mm 23mm 左 30mm 底 10mm 右 30mm 23mm 左 50mm 底 10mm 右 70mm 43mm 左 20mm 底 15mm 右 30mm 22mm	左 30mm         底 10mm         右 15mm         0.0017 m3           左 40mm         底 10mm         右 10mm         20mm         0.0019 m3           左 10mm         底 10mm         右 10mm         10mm         0.0009 m3           左 10mm         底 10mm         右 10mm         0.0009 m3           左 30mm         底 10mm         右 30mm         23mm         0.0021 m3           左 50mm         底 10mm         右 70mm         43mm         0.0040 m3           左 20mm         底 15mm         右 30mm         22mm         0.0020 m3

※現況目地部の土砂・埃等の撤去および劣化目地モルタルのはつり除去を行なった後、 目地モルタルにて充填する。(接続部のずれも考慮する) 備考:現況は目地が剥離している箇所もあり

# 区間①~低

※目地補修工 3箇所 (U字溝450)



3箇所当たり

## 目地補修数量表

施工位置	現況目地開き幅t	平均目地埋幅t	モルタル撤去	目地モルタル
I	左 20mm 底 10mm 右 20mm	17mm	0.0016 m3	0.0016 m3
J	左 20mm 底 10mm 右 20mm	17mm	0.0016 m3	0.0016 m3
K	左 30mm 底 70mm 右 80mm	60mm	0.0056 m3	0.0056 m3
	左10mm 底10mm 右10mm	1 Omm	0.0009 m3	0.0009 m3
at .	全体施工延長 1.35*4=5.40m		0.0097 m3	0.0097 m3

※現況目地部の土砂・埃等の撤去および劣化目地モルタルのはつり除去を行なった後、 目地モルタルにて充填する。(接続部のずれも考慮する) 備考:現況は目地が剥離している箇所もあり

※尾尻北	江区		
業務名	R 5 徳耕 地すべり 佐那河内 尾尻北長寿命化対策工事		
路線名等	佐那河内地区		
業務箇所	名東郡佐那河内村		
図面名	2号排幹線排水路-1 構造図		
縮尺	図 示 図面番号 10 / 13		
会社名			
事業者名	徳島県東部農林水産局〈徳島〉		

※ 2 号 幹 線 排 水 路 (1)



※既設水路再設置 L=9.5m (U字溝450)

DM平面 S=1:500



# 施工機械進入縦断図(参考)

<u>盛土</u> /A=0.3m2 敷鉄板 3枚 914\*1829\*22 (289kg/ B=2.0m 施工機械進入路 i=54.9%(28.8°)

進入路	各土工		1.0式	当たり
名	称	規 格	数	量
盛	±	搬入土	2. 5	m3
掘	削	土砂	4. 3	m3
〈復旧	>			
埋	戻	掘削土砂	4. 3	m3
盛土	撤去	土砂	2. 5	m3

※数量は法面分を考慮しB-2.5m幅として数量算出。

### 敷鉄板 1.0式当たり 規 格 数 量 名 称 設置・撤去 914\*1829\*22 3枚

※既設浄化槽を敷鉄板で保護し、現況を切盛して進入路を作成する。 下段の樹園地からは、果樹背面側を通り施工位置まで進入予定。 進入幅が狭い場合は、果樹の枝切り・既設U字溝上に鋼製マット等(ミヤマット)を布設し進入する。

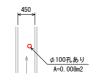
# 区間側

※底版欠損補修(間詰) 1箇所 (U字溝450)

断面図



平面図

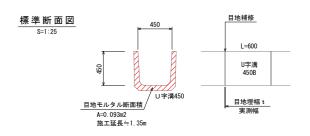


<b>に版補修数量表</b> 1. 0式当り (1. 0箇所)					
名 称 規格 数	量				
断 面 補 修 エ t=200mm	0. 01 m2				

※下地処理後(劣化部はつり)、清掃を行い無収縮モルタル等で間詰する。

# 区間側

※目地補修工 1箇所 (U字溝450)



## 目地補修数量表

1箇所当たり

施工位置	現況目地開き幅t	平均目地埋幅t	モルタル撤去	目地モルタル
N	左 10mm 底 15mm 右 60mm	28mm	0.0026 m3	0.0026 m3
ä†	全体施工延長 1.35*1=1.35m		0.0026 m3	0.0026 m3

※現況目地部の土砂・埃等の撤去および劣化目地モルタルのはつり除去を行なった後、 目地モルタルにて充填する。(接続部のずれも考慮する) 備考:現況は目地が剥離している箇所もあり

# 区間①~⑨

※土砂等の撤去 L=7.0m ※土砂等の撤去 L=4.0m (U字溝450B)



土砂撤去数量表

標準断面図

土砂撤去数量	<b>遣表</b>	1.	.0式当り(L	=7. Om)
名 称	規	格	数	量
人力掘削	土砂		1.4	m3

# 区間® A=0.14m3/m 阻害率65%

標準断面図

土砂撤去数量表 1.			0式当り(	L=4. 0m)
名 称	規	格	数	量
人力掘削	土砂		0.5	m3

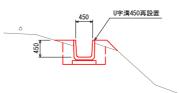
# ☆撤去土砂等について

作業は人力施工とし撤去土砂等は、場内処理を原則とする。 搬出が必要な場合は現場監督員と協議の上、処理を行なうこと。 土砂撤去区間において、大きな損傷が新たに見られた場合は、 確認後(要協議)、対策工の実施を行う。

現況標準断面図

既設U字溝450撤去 (清揚後、再利用予定)

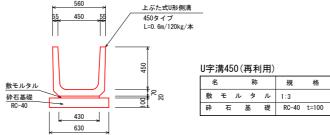
復旧標準断面図



ŁΙ	:						L=1. (	Om当り	
名	i	彩	7	規	格	数		量	
床	堀	掘	削	土砂			0. 4	m3	
埋			戻	流用=	Ł		0. 4	m3	
基	面	仕	Ŀ	土砂面	5		0. 6	m2	



S=1/20



※既設U字溝を撤去し基礎は新たに施工する。 本体は清掃し再利用するものとする。 ☆U字溝本体が重く再布設延長も長いため機械施工とする。(施工機械進入路計画あり)

## ※屋尻北工区

次 <b>尼</b> . 九 1 <b>C</b>						
業務名	R 5 徳耕 地すべり 佐那河内 尾尻北長寿命化対策工事					
路線名等	佐那河内地区					
業務箇所	名東郡佐那河内村					
図面名	2号排幹線排水路-2 構造図					
縮尺	図 示 図面番号 11 / 13					
会社名						
事業者名	徳島県東部農林水産局〈徳島〉					

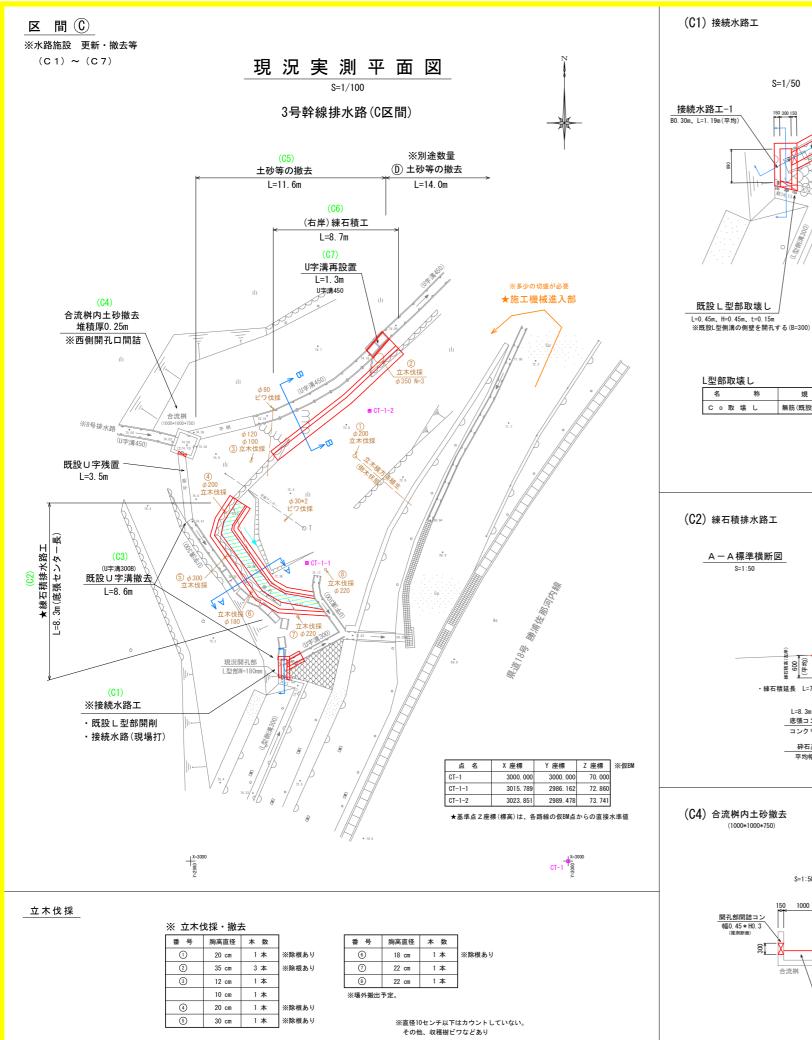
※ 2 号 幹 線 排 水 路 (2)

L=10.0m当り

0.09 m3

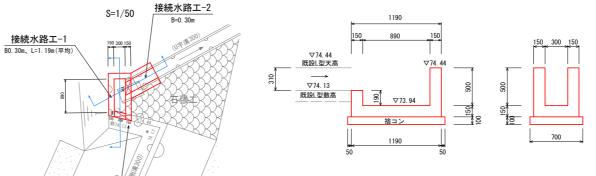
6.30 m2

称 規 格 数 量



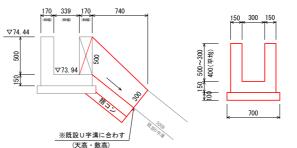
# (C1) 接続水路工

## 接続水路工-1 S=1/25



接続水足	各工-1			1. 0:	式当り
名	称	規	格	数	뮬
捨コンク	ノート	σck=18N/mm2		0.09	m3
同上型	! 枠	均し型枠		0. 26	m2
コンクリー	- F	σck=18N/mm2		0. 29	m3
型枠		小型權告物		3. 33	m2

## 接続水路工-2 S=1/25

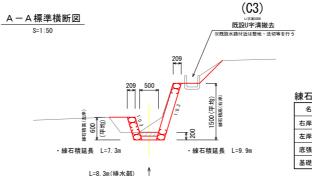


接続水路	各工−2			1. 0:	式当り
名	称	規	格	数	量
捨コンク	リート	$\sigma$ ck=18N/mm2		0. 05	m3
同上型	일 枠	均し型枠		0. 15	m2
コンクリ	- F	σ ck=18N/mm2		0. 16	m3
型枠		小型構造物		1. 63	m2

※現地整への根入高が確保出来ない場合は、底版コン高を調整(台コン形状)して高さを調整する。 接続水路-2の擦付けぶは、既設リ字溝の位置・高さに合わせること。 掘削工事で撤去した、既設の張石積は復旧しておくこと。 また、土工数量は僅かなため数量から除外する。

## (C2) 練石積排水路工

C o 取 壊 し



数 量

規 格

無筋(既設L型部)

土工	規	格	L=1.	0m当り 量		
10 10	791	THE .	蚁	#		
機械掘	1 土砂		0. 6	m3		
埋 戻	流用	±	0. 2	m3		
基面仕	上 土砂	面	0.8	m2		
<ul><li>※残土は、場内処理を原則とする。(C6部で利用)</li><li>土工数量はL=8.3mで計上する。</li></ul>						

棟石積フ	k路工			1.03	式当り
名	称	規	格	数	量
右岸 練	石積工	t=200 L=9.9	m	15. 50	m3
左岸 練	石積工	t=200 L=7.3	m	4. 57	m2
底張コン	クリート	σ ck=18N/mm2	L=8. 3m	0. 42	m3
基礎砕石	t=100	RC-40 L=8.3	m	3. 40	m2

※練石積高は現況及び擦付け位置に合わせて調整すること。(前面勾配も現況に擦り合わせる) 出来るだけ掘削撤去した既設の石を再利用して施工を行う。 湧水がある場合は、水抜管の設置を検討すること。

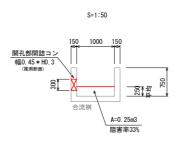
底張コン高・・・上流は現況高程度より、下流はU字溝天端高をつないだ勾配で計画する。 最下流部の両端石積高は、敷高+0.20m程度とする。

## (C3) 既設∪字溝撤去



1.0式当り 称 規 格 数 量 無筋 L=8.6m 0.47 m3

# (C4) 合流桝内土砂撤去



底張コンクリート

コンクリートt=100

砕石基礎t=100 平均幅 W=0.41m

桝内土砂撤去	1. 03	式当り	
名 称	規格	数	量
人力掘削	土砂	0.3	m3

# ☆撤去土砂等について

作業は人力施工とし撤去土砂等は、場内処理を原則とする。 搬出が必要な場合は現場監督員と協議の上、処理を行なうこと。

間詰コン	ン数量表			1. 0:	式当り
名	称	規	格	数	量
間詰コンクリート		σck=18N/mm	2	0. 02	m3
		※現況断	面に合わせ	て変更する	こと。

# ※3号幹線排水路(1)区間 C-1

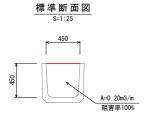
区間A・B、D・E部については、次頁参照。

# ~== ... = ...

※尾尻北	江区		
業務名	R 5 徳耕 地すべり 佐那河内 尾尻北長寿命化対策工事		
路線名等	佐那河内地区		
業務箇所	名東郡佐那河内村		
図面名	3号排幹線排水路-1 構造図		
縮尺	図 示 図面番号 12 / 13		
会社名			
事業者名	徳島県東部農林水産局〈徳島〉		

# ※3号幹線排水路(1)区間 C-2

## (C5) 土砂等の撤去 L=11.6m (U字溝450)



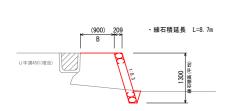
土砂扣	散去数量	量表	1. (	)式当り(L	=11.6m)
名	称	規	格	数	量
人力	掘削	土砂		2.3	m3

## ☆撤去土砂等について

作業は人力施工とし撤去土砂等は、場内処理を原則とする。 搬出が必要な場合は現場監督員と協議の上、処理を行なうこと。 土砂撤去区間において、大きな損傷が新たに見られた場合は、 確認後(要協議)、対策工の実施を行う。

# (C6) 右岸 練石積工 L=8.7m

# B-B標準横断図

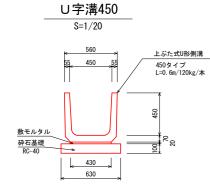


土工		L=1.0m当り
名 称	規 格	数 量
機械掘削	土砂	0.1 m3
埋戻	流用土	1.0 m3
基面仕上	土砂面	0. 2 m2
	※不足+は	現場採取とする。

練石積工				1.05	式当り
名	称	規	格	数	曹
練石積		t=200 L=8.7	7m	11.81	m3

※練石積高は現況及び擦付け位置に合わせて調整すること。(前面勾配も現況に擦り合わせる) 出来るだけ掘削撤去した既設の石を再利用して施工を行う。 湧水がある場合は、水抜管の設置を検討すること。

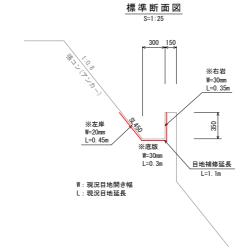
## (C7) 既設水路再設置 L=1.3m (U字溝450)



U字	冓45	0 (	再和	]用)			L=10. 0	m当り
名	i		称		規	格	数	量
敷	Ŧ	ル	タ	ル	1:3		0. 09	m3
砕	石		基	礎	RC-40	t=100	6. 30	m2

※既設U字溝を撤去し基礎は新たに施工する。 本体は清掃し再利用するものとする。 (土工数量は僅かのため除外する)

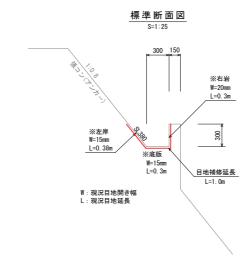
# 区間A



目地補修工延長 1.0箇所当り				
名 称	規	格	数	量
目地補修延長	充填	C法	1.	10 m

# 区間(B)

※目地補修工 1箇所 (現場打L型水路-底幅300)



目地補修工	1. 0箧	所当り	
名 称	規格	数	量
目地補修延長	充填工法	0. 98	m

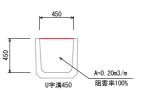
## 目地補修標準図 現場打ちコンクリート水路

> W:設計幅 現況目地開き幅+10mm(最大40mm以下) t:設計厚 30mm以下(最低10mm) ※標準は20mmとする

# 区間D

※土砂等の撤去 L=14.0m (U字溝450)

# 標準断面図

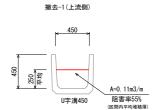


土砂撤去数量	<b>是表</b>	1. 0	式当り(L=	14. Om)
名 称	規	格	数	量
人力掘削	土砂		2. 8	m3

# 区間Ê

※土砂等の撤去-1 L=15.0m※土砂等の撤去-2 L=50.0m(U字溝450)

## 標準断面図 S=1:25



土砂撤去数量	<b>是表</b>	1.0	)式当り(L=	=15. Om)
名 称	規	格	数	量
人力掘削	土砂		1.7	m3

# 撤去-2(下流側) 450 A=0, 20m3/m

標準断面図

土砂撤去数量	<b>遣表</b>	1. (	式当り(L=	50. Om)
名 称	規	格	数	量
人力掘削	土砂		10. 1	m3

# ☆撤去土砂等について

作業は人力施工とし撤去土砂等は、場内処理を原則とする。 搬出が必要な場合は現場監督員と協議の上、処理を行なうこと。 土砂撤去区間において、大きな損傷が新たに見られた場合は、 確認後(要協議)、対策工の実施を行う。

## (尾尻北工区

※尾尻北	二上区		
業務名	R 5 徳耕 地すべり 佐那河内 尾尻北長寿命化対策工事		
路線名等	佐那河内地区		
業務箇所	名東郡佐那河内村		
図面名	3号排幹線排水路-2 構造図		
縮尺	図 示 図面番号 13 / 13		
会社名			
事業者名 徳島県東部農林水産局〈徳島〉			

※ 3 号 幹 線 排 水 路 (2)